



平成30年9月19日

カンボジアの小学校にトイレ・手洗い場を作るためにご支援を！

—カンボジア王国カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト—

カンボジアの NGO ウドンハウスの楠川富子氏や本学医学部清水裕子教授が中心となり、JICA 草の根技術協力事業として展開している標記プロジェクトにおいて、カンボジアの小学校に保健室開設や衛生教育活動を実施しています。昨年、同国の教育・青少年・スポーツ省長官と共に、学校関係者や行政関係者など 27 名を香川に招いて研修を実施した際には、本学医学部のほか、本学附属小中学校や高松市の上下水道施設等にご協力を頂きました。

研修した学校関係者は、帰国後「香川モデル」を模範として衛生教育に奮闘していますが、トイレが破損されて使えない、手洗い場がないなどの理由で、思うように衛生教育を広めることができません。

そこで、日本の市民の方々のご支援を頂き、トイレや手洗い場の建設資金を確保し、現地が必要とする最低限のトイレや手洗い場を建設したいと思います。トイレのない学校では児童らは校庭で用を足し、手を洗うこともできません。

香川大学は、カンボジア王国カンダルスタン郡の 32 校の小学校にトイレを作るための資金を集めるため一般社団法人大学支援機構が運営する Otsucle を利用し、クラウドファンディングに挑戦することとなりました。

1. 「トイレが足りない」「手洗い場がない」子ども達の声に応えて

香川大学が挑むカンボジアのトイレ増設プロジェクト

2. 香川大学自然生命科学系 医学部・医学系研究科

慢性期成人看護学 清水 裕子

3. 平成30年9月20日(木)～12月15日(土)

<https://otsucle.jp/cf/project/kandal-stueng-toilet.html>

4. 目標金額 500 万円

5. 寄附形式 確約型 (All In)

□ カンボジアという国

インドシナ半島の中心に位置し、面積 18.1 万平方キロメートル、人口約 1,580 万人(2016 年政府統計)の国です。南部はシャム湾に面し、周囲をベトナム、タイ、ラオスに囲まれています。

農業を基幹産業とした国家ですが、長期に亘る内戦と混乱により、経済が落ち込み、アジアでも最も貧しい国のひとつです。

1) 政治が安定していない

- 1970-75 年クメール共和国では米軍の爆撃により 200 万人が難民となり、76-79 年にはクメール・ルージュや中国から帰国したポル・ポトにより約 100 万人が殺戮されました。

- 1991年のカンボジア和平パリ協定迄の20年間に内戦があり、食糧不足と教育が荒廃しました。
- 現在も政治的には不安定です。国連をはじめ多くの国際的組織や国々が支援を行っています。
- 米、中との歴史的経緯から、親日的な国であり、カンボジアにとっては、日本が最大の支援国となっています。

2)教育格差、経済格差、地域格差が大きい

- 家族の中では、両親が出稼ぎに行くことが多く、児童は就学年齢が未だ不定(6年生は11歳から17歳など)です。親の教育歴、経済力差が大きく、子の教育が左右される現状にあります。
- 国内経済は、ドル経済とリエル経済が同時に存在し(1\$=4015KHR)、経済格差を助長しています。例えば、教員は半日就業で月に250\$ですが、日本語通訳は1日200\$など、英語や日本語を話す就業者との経済格差も課題となっています。

3)学校の実態

- 小中高大学と全ての学校が、トイレ・手洗い・給食がないため半日授業であり、履修学科目を増加させることができません。
- 教育省は、日本の教育機関を視察して、終日学習のスーパーモデル校を1校開設し、国内普及を図ろうとしています。しかし、本プロジェクトが対象とする首都から40分の近郊にあるカンダルスタン郡でさえ、小学校の教室には電灯がなく、教材も不足している状況です。
- 教員は、短期大学卒業程度であるため、学校保健内容は救命法とけがの手当を短時間学んだにすぎない状況です。

□ 児童の衛生実態調査

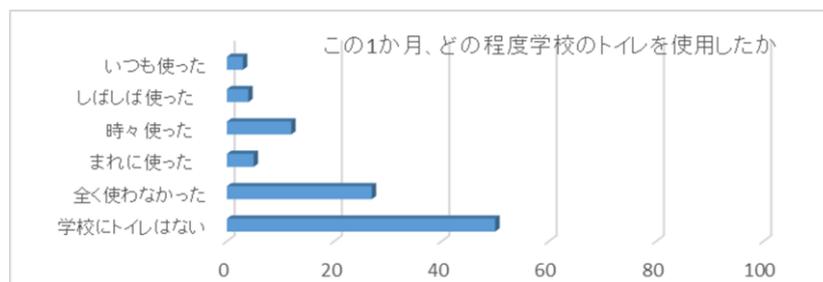
我々はJICA草の根事業を実施にあたり、児童らの衛生状況を把握するため、衛生・保健に関する実態調査を2016年1月28日に実施しました。

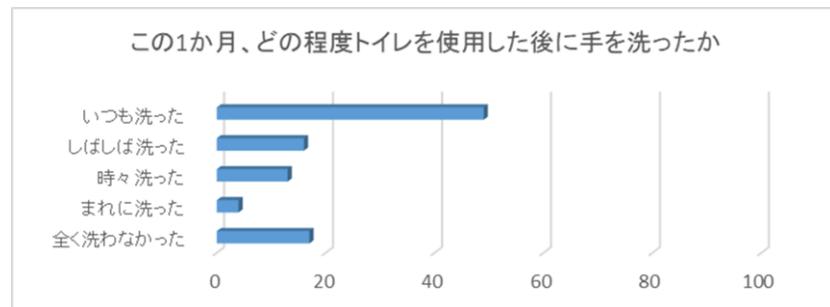
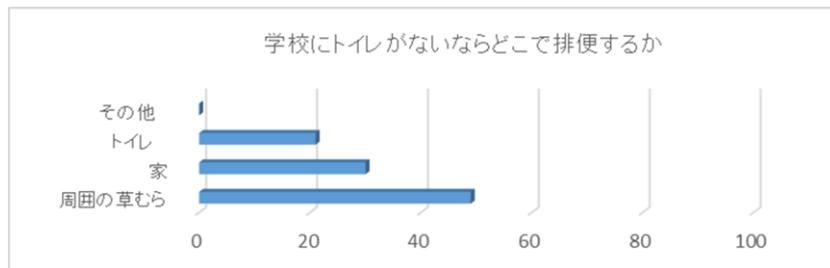
調査概要: 対象は、小学生男児135名、女児158名、計293名、年齢は8~12歳で大多数は12歳でした。

学年は3~6年生で、身長は70~190cm、体重は15~56kgでした。

結果: 栄養面では、炭酸飲料を毎日1回以上摂取する児童は43%、食事状況のうち朝食を毎日食べない児童は60%でした。その理由は時間がない児童が22%、食べ物が何時も家がないのが19%、1ヶ月以内の食事が十分でないと回答した児童は47%などの結果でした。

また、衛生面では、どの程度トイレを使用したかは、半数が学校にトイレはない、トイレがない場合草むらで用を足す、手洗い場がなく手洗いをしない児童もありました。その後、2018年7月にも調査を行ないましたが、トイレのない学校は現在も同様の状況です。





□ クラウドファンディングの寄附呼びかけ WEB 内容(抜粋)

「トイレの後は手を洗おう」その学校にはトイレも手洗い場もなかった。

香川大学が挑む、カンボジアのトイレ増設プロジェクト

香川大学では、カンボジア国カンダルスタンの 32 校の小学校にトイレを作るためクラウドファンディングに挑戦することとなりました。



2017 年 2 月 香川大学ではカンボジアの小学校における衛生教育の向上を目的として、JICA から「カンボジア国カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健室体制の構築プロジェクト」を受託しました。



この事業では、3年間で学校保健モデルを通じた学校保健指導者の育成やターゲットとする地区(カンダー

ル州)の小学校全校での衛生教育向上のための実施体制(特に各校に保健室を整備すること、衛生教育ができる先生を最低一人育成すること)を目指しています。

今後、カンダール州をモデルケースにカンボジア全土の小学校に衛生教育を広げたいという期待のかかったプロジェクトです。

しかし、このプロジェクトのリーダーである香川大学の清水教授が現地を訪れてみると、カンボジアで衛生教育をするためには大きな課題が残されていました。

それは、保健衛生の環境を整えるために不可欠なトイレや手洗い場が全く足りていないという事実です。



私たちが今回のプロジェクトで衛生教育の充実を目指す対象地区のカンダールスタン郡には全部で 32 校の小学校があり、12,760 名の児童が通っています。

そのうちの 5 つの学校にはトイレがありません。

また、960 名の児童が通うある小学校では、利用可能なトイレは 2 つしかありませんでした。

このように 32 校に計 62 個のトイレしかありません。

そのほとんどが便器の数が少ない小さなトイレなので、長い順番待ちができてしまいます。

しかも半分壊れたような状態のものも多く、その修理費にも事欠く状況です。

そのためトイレを使わず外で用を足してしまう児童も多いのです。

さらに、驚くことに手洗い場のある小学校は 3 つしかありませんでした。

このような環境では、「トイレで用を足そう、そしてトイレに行ったら手を洗おう」というような当たり前のことを実践するのも難しい状況です。

首都から 40 分しか離れていないカンダールスタン郡でさえ、電気やトイレ、手洗い場のない学校が普通にあるのです。

経済的、物質的に不十分な状況の中で、「日本のようになることは幻想だ」と先生たちは考えがちです。



プロジェクトメンバーは、しばしば現地を訪問し、リサイクル活動や手作りの工夫を励ましていますが、トイレは、手作りというわけにはいきません。

そこで香川大学では、32校の小学校にトイレを作るための資金を集めるため、一般社団法人大学支援機構が運営する Otsucle を利用し、クラウドファンディングに挑戦することとなりました。

日本でも災害が多く、苦しんでいる方々も多いですが、カンボジアの声を上げられない小さな子供たちのために、皆様の善意を分けてください。

プロジェクトページ <https://otsucle.jp/cf/project/kandal-stueng-toilet.html>



香川大学への寄附と税制について

【所得税控除】

個人や法人からの国立大学法人に対する寄附については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金または、法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金として財務大臣から指定されています。

○個人…2千円を超える部分について、寄附金を支出した年中総所得の40%を限度に当該所得から控除可能です。

○法人…全額損金算入可能です。

振込によるご寄附について

このプロジェクトはクレジットカード決済以外に銀行、郵便振込によるご寄附も受け付けています。

入金確認のための支援者様の振込名義などをお知らせいただく必要があります。銀行、郵便振込によるご寄附の場合は必ずご記入をお願いいたします。

《手順》

①リターンのコースを選択し、「寄附するボタン」を押してください。表示される画面に従い、次の事項を記載してご連絡ください。

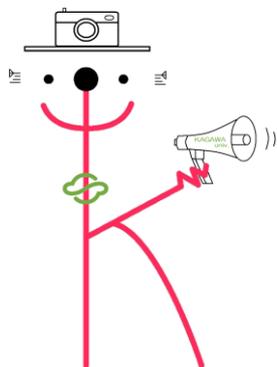
振込先、口座番号等は申し込みをいただいたのち、支援者様に自動返信メールにて連絡します。

- ・ 振込名義人のお名前

- ・ 金額
- ・ 寄附コースの名称
- ・ 領収書などの送付先住所、電話番号、メールアドレス

②ご注意事項

- ・ 振込に際しては振込手数料のご負担をお願いいたします。



➤ お問い合わせ先

香川大学 医学部 教授 清水 裕子

TEL : 087-891-2240

E-mail : hshimizu@med.kagawa-u.ac.jp

香川大学 医学部 看護学科事務室

TEL : 087-891-2344